

**「松本・高山エリア」における高付加価値なインバウンド観光地づくり
高山市街地エリアにおける受入環境整備業務
企画提案書作成要領**

松本・高山 高付加価値な観光地づくり推進協議会が実施する標記業務の委託に係る公募型プロポーザルに関し、プロポーザル参加者が企画提案書を作成するために必要な事項は次のとおりとする。
なお、プロポーザル参加者は、本事業の公募実施要領の趣旨に沿って提案すること。

1 企画提案時の提出書類及び構成

(1) 提出書類

正本1部、副本9部及び電子データを提出すること。

(2) 構成

ア 表紙

イ 「松本・高山エリア」における高付加価値なインバウンド観光地づくり 高山市街地エリアにおける受入環境整備業務に係る企画提案書（本要領における「2 作成要領」に沿った任意の形式とすること。）

ウ 事業実施スケジュール（様式5）

エ 業務実施体制（様式6）

オ 事業実施実績（本業務に類似する業務に限る）（様式3）

カ 見積書（様式7）

(3) 留意事項

ア 公募実施要領の趣旨を十分にくみとり、具体的に提案すること

イ 事業実施スケジュールについては、具体的に記載すること。

ウ 見積書については、本業務に係る所要経費を全て見積るとともに、見積りの根拠となった所要経費の明細を明らかにすること。

2 作成要領

(1) 用紙は、原則A4判（必要に応じA3判の折込みも可）両面使用とし、縦置き横書きとすること。ただし、図表等の表現の都合上、用紙及び記述の方法を一部変更することは差し支えないものとする。

(2) ページ番号は目次を除き通し番号とし、各ページの下部に印字すること。

(3) 業務実施スタッフ体制図などには、プロポーザル参加者名を「当社」と記載すること。

3 評価の観点

(1) 事業目的と実現性

- ・事業目的（当事業の目的に即した内容）及び成果指標が明確か。また、上記成果指標に対して達成できる見込みはあるか。
- ・事業におけるアウトプット手法は明確で、地域関係者もイメージできるか。

(2) マスタープランとの適合性

- ・松本・高山高付加価値化マスタープランにおける地域価値（コアバリュー）に即しているか。
- ・事業におけるターゲット・戦略が明確に記載されているか。

※マスタープランについては、下記ウェブサイトに掲載しています。

<https://kitaalps-traverseroute.jp/>

(3) 地域との連携

- ・地域実態に即した内容になっているか（地域の現状・環境・機運などから実現可能なものか）。
- ・地域の既存施策や大方針との整合性は図れているか。
- ・事業参画の関係者との調整は図れているか。

※未定の場合は、今後の調整方針・調整内容の明確化

- ・松本エリア・山岳エリア・高山エリアに跨って取り組むべき内容は、各エリアの事業者の参画・連携を促す仕組みを設けているか。

(4) 適切な事業費

- ・事業費の積算根拠・使途が適正か。
- ・地域バランス（3つのコアゾーン）を考慮した事業費となっているか（※1地域において突出した事業費となっていないか）。